

第6次広島県病院事業経営計画(期間再延長版) 【素案】の概要について

1 経営計画の概要

(1) 計画期間

平成29年度から令和4年度の6年間

(現行計画(第6次広島県病院事業経営計画)を1年間再延長)

(2) 延長理由

- ・ 次期計画策定に当たっては、県内各地域において行われる地域医療構想調整会議での議論を踏まえることとされているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、当該会議における議論が進んでいない。
- ・ 計画策定の指針となる総務省が策定する新公立病院改革ガイドラインの改定が延期されていたが、総務省は新たなガイドラインについて、今年度末までの策定を想定していることが示されたところである。
加えて、新たなガイドラインでは、次期計画の策定期間を令和4年度又は令和5年度中とし、計画期間については策定年度から令和9年度までを標準とするよう各団体に要請する方向性であると示されている。

(3) 計画の内容

原則として、現行計画の内容を踏襲しつつ、外部評価委員会委員の指摘や病院の課題等を踏まえた取組等を記載し、目標指標についても一部見直しを行った。

(4) 次期経営計画の策定

新たなガイドラインの内容等を踏まえ、令和4年度以降に策定する予定

2 取組方針【広島病院】

(1) 医療機能の強化・患者満足度の向上

- ・ 高度医療の強化に取り組み，県全域を視野に入れた基幹病院としての役割を果たす。

(2) 地域完結型医療への取組

- ・ 地域の医療機関との連携による役割分担を積極的に行い，患者や地域から選ばれる病院を目指す。

(3) 業務改善・経営基盤の強化

- ・ 救命救急センターや専門医療センターなどの強みや特色を活かした病院運営に努め，令和4年度診療報酬改定を受けた施設基準の届出・算定を適確に行うとともに費用の合理化を図るなど，収支改善に取り組む。

(4) 医療を担う人材の確保・育成

- ・ 県内外からの若手を中心とした医師の確保に積極的に取り組むとともに，将来の医療を担う人材の育成に努める。
- ・ 地域医療で活躍する人材の育成・支援に取り組み，県全体の医療水準の向上に貢献する。

2 取組方針【広島病院】(続き)

(5) 新型コロナウイルス感染症への対応

- ・ 県の医療施策に積極的に協力し、引き続き新型コロナ患者の受入・療養に努めるなど、県立病院としての役割を果たす。
- ・ ポストコロナにおいても県立病院として期待される機能を強化し、持続可能な地域医療提供体制の効率的な運用に貢献する。

(6) 働き方改革

- ・ 各職種がそれぞれの専門性を十分に発揮するための勤務環境の整備、タスク・シフティング、タスク・シェアリング、ICT技術の積極的導入などに取り組むことにより、更に職員のワーク・ライフ・バランス及び医療の質の双方の向上を目指す。

3 取組方針【安芸津病院】

(1) 地域包括ケアシステムの質の向上への貢献

- 地域の医療機関や介護施設、行政等と連携し、地域住民の健康と暮らしを支える取組を進めるため、健(検)診受診促進といった予防医療を推進するとともに、地域の医療機関等と連携して、在宅看取りを含めた在宅療養支援を充実させる。
- 強みである地域包括ケア病床をさらに拡充し、効果的に運用することで在宅復帰に向けた支援を切れ目ないものとしていく。

(2) 地域の医療機能の維持

- 地域住民が安心して生活していくことができるよう、専門医療の充実を図るとともに、政策医療の提供体制の維持・確保に努める。

(3) 業務改善・経営基盤の強化

- 持続的な病院経営を図るため、患者満足度の向上につながるTQM活動や5S活動を継続実施するなど、引き続き業務改善に取り組むとともに、病棟・病床の弾力的な運営により、病床稼働率の向上を図る。
- 令和4年度診療報酬改定を受けた施設基準の届出・算定を適確に行い、材料費や経費などの費用の合理化を図るなど、収支改善に取り組む。

3 取組方針【安芸津病院】(続き)

(4) 耐震化対応

- 耐震化対応基本構想に基づき、耐震化対応基本計画を策定する。
耐震対応基本計画の策定に当たっては、専門部会での議論を継続するとともに、将来的にも地域の中核的病院として在り続けられるよう、具体化を進める。

(5) 働き方改革

- 職員のワーク・ライフ・バランスの充実と患者サービスの向上ため、複数の医師が1人の患者の診療に当たるチーム医療の推進による個人負担の軽減、また、職員の時間外勤務の縮減や有給休暇の取得等に積極的に取り組む。

4 収支計画(全体)

		(単位:人)				
年 度	H29	H30	R元	R2	R3見込み	R4
入 院 延 患 者 数	250,981	228,278	227,031	202,884		
外 来 延 患 者 数	362,844	347,100	330,427	295,378		
年 度	H29	H30	R元	R2		
病 院 事 業 収 益	医 業 収 益	23,831	23,501	23,998	22,950	
	うち入院収益	16,703	16,288	16,609	15,762	
	うち外来収益	6,432	6,512	6,691	6,525	
	医 業 外 収 益	2,259	2,381	2,079	4,159	
	うち長期前受金戻入	519	522	488	482	
	特 別 利 益	1	3	4	391	
合 計	26,091	25,884	26,081	27,501		
病 院 事 業 費 用	医 業 費 用	24,990	25,149	25,760	26,011	
	うち給与費	13,142	13,124	12,994	13,257	
	うち材料費	7,296	7,315	7,958	7,886	
	うち経費	3,161	3,173	3,298	3,401	
	うち減価償却費	1,242	1,398	1,363	1,380	
	医 業 外 費 用	603	565	571	496	
	うち支払利息	414	367	317	268	
	うち負担金	91	99	157	135	
	特 別 損 失	989	983	26	392	
	合 計	26,583	26,697	26,357	26,900	
経 常 損 益	496	167	▲ 254	602		
特 別 損 益	▲ 988	▲ 980	▲ 22	▲ 1		
収 益 的 収 支 差 引	▲ 492	▲ 813	▲ 276	601		
資 本 的 収 入	企 業 債	1,091	700	623	641	
	負 担 金 等	775	839	860	1,261	
	そ の 他	9	7	3	14	
	合 計	1,874	1,545	1,486	1,916	
資 本 的 支 出	建 設 改 良 費	1,115	784	659	1,031	
	企 業 債 償 還 金	2,096	2,335	2,447	2,498	
	そ の 他	193	193	193	126	
	合 計	3,404	3,312	3,299	3,655	
資 本 的 収 支 差 引	▲ 1,530	▲ 1,767	▲ 1,813	▲ 1,739		
単 年 度 資 金 収 支	▲ 107	▲ 893	▲ 1,068	▲ 86		
年 度 末 内 部 留 保	3,937	3,045	1,976	1,890		
<繰入金>						
一 般 会 計 繰 入 金 合 計	2,640	2,628	2,614	4,973		
収益的収入繰入金 計	1,865	1,789	1,753	3,802		
資本的収入繰入金 計	775	839	860	1,171		
経 常 収 支 比 率	101.9%	100.6%	99.0%	102.3%		
医 業 収 支 比 率	95.4%	93.4%	93.2%	88.2%		
給 与 費 / 医 業 収 益	55.1%	55.8%	54.1%	57.8%		
材 料 費 / 医 業 収 益	30.6%	31.1%	33.2%	34.4%		
病 床 稼 働 率	86.2%	78.4%	77.7%	69.5%		

調整中

(注)端数処理の関係で合計等が一致しない場合がある。

5 目標指標【広島病院】

目標指標(旧)		外部評価委員意見等
(1) 医療機能の強化		
I 医療提供体制の強化		
救急	1) 救急車・ヘリ受入台数	■救急車受入、入院になった数、ヘリ受入数をわかるようにすること。(中西委員)
	2) ドクターカー搬送件数	【変更理由】救命救急センターとして重症患者を要請に応じて受け入れることが重要であり、件数から三次救急の対応状況を表す率へ変更する。
		■二次救急の機能を評価するのであれば受け入れ数は意義あると考える。三次救急の機能ということになると、二次救急からの転送受け入れ率のほうがより合理的な指標になるのではないかと。(谷田委員長)
脳心臓	3) 脳心臓血管センター新規入院患者数	■脳血管、心血管新規患者数の区別をすること。(中西委員)
	4) PCI対象疾患に対するPCI実施件数	
		■脳心臓血管医療は、循環器病対策推進計画の内容に基づき、県の医療の中で重点的に取り組むべきことから重点指標としてよいのではないかと。(中西委員)
		■PCI検査のさらなる充実を図るべきである。(和田委員)
	5) 急性期リハビリテーション件数 ※脳血管疾患等リハビリテーション件数及び心大血管疾患リハビリテーション件数の合計	■広島県は心臓リハビリが少ないと言われておりますので件数を算定すること。(中西委員)

目標指標(新)		R2実績	R4目標
(1) 医療機能の強化			
I 医療提供体制の強化			
救急	【重点指標(モニタリング)】 1) 救急車受入台数 (救急車、ヘリ等の内訳はモニタリング時に記載する。)	5,736台	6,400台
	2) 三次救急(ホットライン)受入率	算出中	100%
	3) 二次医療機関からの重症患者受入応需率	算出中	100%
脳心臓	【重点指標(モニタリング)】 4) 脳血管系と心血管系の新規入院患者及び救急外来からの緊急入院患者数 (脳血管、心血管の内訳はモニタリング時に記載する。)	2,940人	2,850人
	5) 急性心筋梗塞PCI件数	131件	130件
	6) 急性期脳卒中に対するtPA治療件数	23件	40件
	7) 急性期脳卒中に対する血管内カテーテルによる血栓回収療法件数	32件	30件
	8) 未破裂、破裂動脈流の治療件数	78件	75件
	9) 心大血管手術件数	75件	75件
	10) 急性期リハビリテーション件数 ※脳血管疾患等リハビリテーション件数及び心大血管疾患リハビリテーション件数の合計	44,108件	35,500件

5 目標指標【広島病院】(続き)

目標指標(旧)		外部評価委員意見等
(1) 医療機能の強化		
I 医療提供体制の強化		
成育	6) NICU・GCU患者数	■NICU/GCUは広域の三次医療であると思うので、単なる新生児受け入れと誤解されないよう工夫が必要ではないか。
	7) 緊急母体搬送受入件数	
	8) 生殖医療科採卵件数	
	9) 生殖医療科遺伝カウンセリング件数	
がん	10) がん患者数(入院)	
	11) がんゲノム検査件数	
	12) 消化器センター新規入院患者数	
その他	13) 全身麻酔手術件数	
	14) クリニカルパス適用率	■クリニカルパスの適用%を増やすこと。(和田委員)

目標指標(新)		R2実績	R4目標
(1) 医療機能の強化			
I 医療提供体制の強化			
成育	11) 1,000g未満出生新生児患者数受入の県内割合	55.1%	50%
	【重点指標(モニタリング)】 12) 緊急母体搬送受入件数	107件	125件
	13) 生殖医療科採卵件数	241件	300件
	14) 生殖医療科遺伝カウンセリング件数	105件	110件
がん	15) 生殖医療科で妊娠が成立した妊婦が産婦人科へ院内紹介された件数	算出中	100件
	16) がん患者数(入院)	5,168人	5,400人
	【重点指標(モニタリング)】 17) がんゲノム検査件数	109件	180件
その他	18) 消化器センター新規入院患者数	2,388人	2,600人
	19) 全身麻酔手術件数	4,217件	4,500件
	20) 遺伝カウンセリング算定件数	125件	120件
	21) DPC/PDPS入院期間 I での退院例のパス適用率, DPC/PDPS入院期間 II での退院例のパス適用率	算出中	I :40% II :50%

5 目標指標【広島病院】(続き)

目標指標(旧)	外部評価委員意見等
(1) 医療機能の強化	
II 医療の安全と質の向上	
17) 認知症ケア加算算定件数	
19) 褥瘡ハイリスク患者ケア加算算定件数	
15) 転倒・転落発生率(レベル2以上)	
18) せん妄ハイリスク患者ケア加算算定件数	
20) がん患者指導管理料算定件数(イ及びロ※) ※がん患者指導料のうち看護師関与分	
16) 入院期間Ⅱ 超え割合	

目標指標(新)	R2実績	R4目標	
(1) 医療機能の強化			
II 医療の安全と質の向上			
チーム医療の推進	22) 認知症ケア加算算定件数	2,267件	2,500件
	23) 褥瘡ハイリスク患者ケア加算算定件数	3,891件	3,800件
	24) 栄養サポートチーム加算算定件数	797件	1,100件
	25) 糖尿病透析予防指導管理料算定件数	10件	10件
	26) 周術期口腔機能管理料算定件数	6,049件	6,000件
	27) 摂食機能療法算定件数	596件	600件
	28) 精神科リエゾンチーム加算算定件数	84件	100件
	看護の質向上	29) 転倒・転落発生率 レベル2以上(軽度の処置を必要とした)	0.47%
30) 既に有していた褥瘡の改善率		71.7%	72.0%
31) せん妄ハイリスク患者ケア加算算定件数		7,109件	8,000件
その他	32) がん患者指導管理料算定件数(ロ※) ※がん患者指導料のうち看護師関与分	341件	400件
	【重点指標(モニタリング)】 33) 入院期間Ⅱ 超え割合	25.6%	20%
	34) インフルエンザ・COVID-19アウトブレイク件数	算出中	0件

5 目標指標【広島病院】(続き)

目標指標(旧)	外部評価委員意見等
(1) 医療機能の強化	
III 危機管理対応力の強化	
21) 災害対応訓練参加者数	
IV 地域連携の強化	
22) 患者紹介率	
23) 患者逆紹介率	
24) 院内研修への地域医療従事者の参加者数	
25) 地域への教育活動件数	

目標指標(新)	R2実績	R4目標
(1) 医療機能の強化		
III 危機管理対応力の強化		
35) 院内災害対応訓練延参加者数	2,191人	2,500人
36) 当院企画の災害訓練・研修会への延参加医療機関数	10施設	18施設
IV 地域連携の強化		
37) 患者紹介率	88.1%	93.0%
38) 患者逆紹介率	120.7%	125%
39) 院内研修への地域医療従事者の参加者数	170人	160人
40) 地域への教育活動件数	196件	280件

5 目標指標【広島病院】(続き)

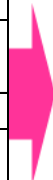
目標指標(旧)	外部評価委員意見等
(2) 人材育成機能の維持	
V 医師の確保・育成	
26) 指導医講習会新規受講者数	
27) 初期臨床研修医選考試験応募者数	
VI 看護師等の確保・育成	
28) 看護師の定着率(定年退職を除く)	
29) 認定・専門看護師数	
30) コメディカル部門の認定資格取得・専門的研修参加者数 (放射線, 検査, 薬剤, 栄養, リハビリ, ME)	
VII 県内医療水準向上への貢献	
31) 医師・看護師等の講師派遣回数	



目標指標(新)	R2実績	R4目標
(2) 人材育成機能の維持		
V 医師の確保・育成		
41) 専門研修プログラム専攻医数	広病 3人 他 35人	広病2人 他 40人
42) 臨床研修指導医新規受講者数	0人	7人
43) 初期臨床研修医採用マッチ率	100%	100%
44) 初期臨床研修医広島県内定着率	88.9%	85.7%
VI 看護師等の確保・育成		
45) 看護師の離職率(定年退職を除く)	算出中	6.6%
46) 認定・専門・特定行為研修修了看護師数領域別確保数 【17領域37名(新規2名), (特定行為研修者ががん薬物療法(1)心不全看護(1))】	0人	2人
47) メディカルスタッフ部門の認定資格取得・専門的資格取得者数 (放射線, 検査, 薬剤, 栄養, リハビリ, ME)	算出中	60人
48) 学生実習の受け入れ実績 (緊急事態宣言期間以外は原則受け入れる)	69人	調整中
VII 県内医療水準向上への貢献		
49) 医師・看護師等の講師派遣回数	203回	200回

5 目標指標【広島病院】(続き)

目標指標(旧)	外部評価委員意見等
(3) 患者満足度の向上	
VIII 患者満足度の向上	
32) 患者意見箱に投稿された意見に対して実効的な改善に取り組んだ件数	
33) 患者アンケートの満足度(入院・外来)	
IX 業務改善	
34) TQM手法習得者数(新規)	
X 広報の充実	
35) 取材協力件数	
36) プレスリリース件数	



目標指標(新)	R2実績	R4目標
(3) 患者満足度の向上		
VIII 患者満足度の向上		
50) 患者意見箱に投稿された意見に対して実効的な改善に取り組んだ割合	65.0%	75.0%
51) 患者アンケートの満足度(入院・外来)	97.0%	97.5%
IX 業務改善		
52) TQM手法習得者数(累積)	541人	719人
X 広報の充実		
53) 取材協力件数	8件	10件
54) プレスリリース件数	0件	5件

5 目標指標【広島病院】(続き)

目標指標(旧)	外部評価委員意見等
(4) 経営基盤の強化	
X I 経営力の強化	
37)新規入院患者数	
38)病床稼働率(700床)	
X II 増収対策	
39)入院単価	
40)特定入院料の算定率(ICU)	
41)特定入院料の算定率(HCU※) ※救命救急入院料算定病床	
X III 費用合理化対策	
42)材料費/医業収益	
43)後発医薬品効果額	■後発医薬品について数量ではなく金額ベースで比較することがよい。(和田委員)



目標指標(新)	R2実績	R4目標
(4) 経営基盤の強化		
X I 経営力の強化		
【重点指標(モニタリング)】 55)新規入院患者数	15,624人	16,900人
56)病床稼働率(700床)	71.5%	66.0%
X II 増収対策		
【重点指標(モニタリング)】 57)入院単価	82,901円	89,800円
58)特定入院料の算定率(ICU)	85.9%	90%
59)特定入院料の算定率(HCU※) ※救命救急入院料算定病床	49.6%	51%
X III 費用合理化対策		
60)材料費/医業収益	35.7%	36.1%
61)後発医薬品及びバイオ後続品効果額	10,000千円	160,000千円

6 目標指標【安芸津病院】

目標指標(旧)	外部評価委員意見等
(1) 医療機能の強化	
I 医療提供体制の強化	
1)手術件数	
2)内視鏡検査件数	
3)救急搬送受入件数	■救急搬送受入数だけではなく、対象の地域において救急要請のどれくらいの割合を受け入れたかが、県立病院として役割を果たすといった観点から重要ではないか。(谷田委員長)
4)専門外来受診患者数 (糖尿病, 人工関節, 骨粗鬆症, フットケア)	
5)健(検)診件数	
6)訪問看護実施数(1枠:30分)	■訪問看護実施数について、「枠数」は業務実績を示す指標だと思う。「当院の柱」「強く期待」されているのは利用が拡大されることではないか。つまり、延利用数ではなく、実利用者数。(谷田委員長)
7)地域包括ケア病床における在宅復帰率	■地域包括ケア病床からの在宅復帰は必要条件なのだから必要なのか。(中西委員)



目標指標(新)	R2実績	R4目標
(1) 医療機能の強化		
I 医療提供体制の強化		
1)手術件数	262件	290件
2)内視鏡検査件数	1,505件	1,900件
【重点指標(モニタリング)】 3)救急搬送受入件数	359件	370件
【重点指標(モニタリング)】 4)専門外来受診患者数 (糖尿病, 人工関節, 骨粗鬆症, フットケア)	754人	950人
【重点指標(モニタリング)】 5)健(検)診件数	2,743件	2,790件
【重点指標(モニタリング)】 6)訪問看護実施数	1,604件	1,700件
【重点指標(モニタリング)】 7)地域包括ケア病床における在宅復帰率	89.1%	85.0%

6 目標指標【安芸津病院】(続き)

目標指標(旧)	外部評価委員意見等
II 医療の安全と質の向上	
8) 転倒・転落発生率(レベル2以上)	
9) 入退院支援加算算定件数	
III 危機管理対応力の強化	
10) 感染症に関する研修参加者数	
IV 地域連携の強化	
11) 介護支援連携指導料算定件数	
12) 患者紹介率	
13) 患者逆紹介率	



目標指標(新)	R2実績	R4目標
II 医療の安全と質の向上		
8) 転倒・転落発生率(レベル2以上)	0.00019	0.00020
9) 入退院支援加算算定件数	769件	800件
10) せん妄ハイリスク患者ケア加算算定件数	573件	580件
11) 認知症ケア加算2算定件数 (14日以内の期間)	301件	300件
12) 在宅患者支援病床初期加算算定件数	694件	830件
III 危機管理対応力の強化		
13) 感染症に関する研修参加率	-	100%
IV 地域連携の強化		
14) 介護支援連携指導料算定件数	124件	200件
15) 患者紹介率	21.5%	23.0%
16) 患者逆紹介率	29.7%	30.0%

6 目標指標【安芸津病院】(続き)

目標指標(旧)	外部評価委員意見等
(2) 人材育成機能の維持	
V 医師の確保・育成	
14) 初期臨床研修 地域医療研修の受入人数	
VI 看護師等の確保・育成	
15) 認定・専門看護師数	
16) コメディカル部門の認定資格取得・ 専門的研修参加者数 (放射線, 検査, 薬剤, 栄養, リハビリ)	
VII 県内医療水準向上への貢献	
17) 地域開放型研修会の参加者数	
(3) 患者満足度の向上	
VIII 患者満足度の向上	
18) 患者アンケートの満足度(入院)	
19) 電話再診件数	
IX 業務改善	
20) TQM手法習得者数	
	■5S活動を活発にお願いする。(中西委員)
X 広報の充実	
21) HP閲覧件数	



目標指標(新)	R2実績	R4目標
(2) 人材育成機能の維持		
V 医師の確保・育成		
17) 初期臨床研修 地域医療研修の受入人数	8人	8人
VI 看護師等の確保・育成		
18) 認定・専門看護師数	0人	1人
19) メディカルスタッフ部門の認定資格取得・ 専門的研修参加者数 (放射線, 検査, 薬剤, 栄養, リハビリ)	0人	1人
VII 県内医療水準向上への貢献		
20) 地域開放型研修会の参加者数	0人	30人
(3) 患者満足度の向上		
VIII 患者満足度の向上		
21) 患者アンケートの満足度(入院)	99.1%	98.0%
22) 電話再診件数	188件	200件
IX 業務改善		
23) TQM手法習得者数	0人	10人
24) 5S活動参加率	-	70.0%
X 広報の充実		
25) HP閲覧件数	-	16,500件

6 目標指標【安芸津病院】(続き)

目標指標(旧)	外部評価委員意見等
(4) 経営基盤の強化	
X I 経営力の強化	
22) 病床稼働率(98床)	
X II 増収対策	
23) 地域包括ケア病床稼働率(29床)	■地域包括ケア病床稼働率について、一般病床の稼働率と比較が必要ではないか。(中西委員)
	■入院単価をせめて40,000円に持っていく活動を行う。(和田委員)
X III 費用合理化対策	
24) 材料費/医業収益	
	■後発医薬品について数量ではなく金額ベースで比較することがよい。(和田委員)



目標指標(新)	R2実績	R4目標
(4) 経営基盤の強化		
X I 経営力の強化		
26) 新規入院患者数	988人	1,000人
27) 病床稼働率(98床)	74.4%	90.0%
X II 増収対策		
【重点指標(モニタリング)】 28) 地域包括ケア病床稼働率(29床)	89.7%	98.0%
29) 入院単価	34,356円	35,000円
X III 費用合理化対策		
30) 材料費/医業収益	20.0%	21.7%
31) 後発医薬品及びバイオ後続品効果額	-	300千円